

令和6年度 自己評価書

学校名 北海道おといねっふ美術工芸高等学校

1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する
 ○基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
 ○個性を生かし、豊かな自己実現を目指す
 ○自然に親しみ、情操を豊かにする

2 本年度の重点目標

- (1) 基礎・基本の確実な定着を目指し、基本的生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 確かな技術・技能の向上を目指し、生徒一人一人の個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活及び寄宿舎生活を通して、豊かな心と社会性を身に付けさせるための生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を通し、自己実現のため意欲と態度を身に付けさせる。
- (5) 生徒が、安全かつ安心して学習ができ、学校生活が送れる環境を創り上げる。

3 自己評価結果

分野	評価項目	達成状況	職員アンケート評価	職員アンケートR05	取組の適切さ	職員アンケート評価	職員アンケートR05	改善の方策
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	4.64	4.67	A	4.64	4.60	・学校評価の活用 ・カリネの視点に立った目標の理解
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	4.57	4.53	A	4.64	4.53	・職員研修の充実 ・スクールポリシーの確立
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	4.71	4.67	A	4.79	4.53	・実態を踏まえた教育課程の改善 ・生徒アンケートの活用
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	4.50	4.13	A	4.64	4.40	・測定ツールの活用 ・朝学習の充実
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	4.71	4.47	A	4.71	4.47	・授業研究の推進 ・自己効力感の向上
生徒指導	6 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	4.64	4.27	A	4.71	4.27	・寮生活の点検と見直し ・スケジュール管理の指導
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	4.64	4.27	A	4.79	4.47	・危機管理体制の確立 ・関係機関と連携した安全教育の推進
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	4.71	4.60	A	4.79	4.67	・教育相談体制の確立 ・多様な背景の把握と情報共有
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	4.64	4.67	A	4.71	4.53	・課題予防的生徒指導への転換 ・家庭、寮との緊密な連携
学校行事 課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	4.36	4.53	A	4.36	4.53	・学校行事と寮行事のバランス確認 ・各種委員会活動の活性化
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	4.50	4.33	A	4.43	4.47	・寮生会活動の活性化 ・リーダーを中心とした組織づくり
進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	A	4.57	4.47	A	4.64	4.47	・自己評価ツールの活用 ・先輩からの助言に基づいた指導
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	4.50	4.47	A	4.43	4.40	・意識醸成のための適時な情報提供 ・インターンシップの活用
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	4.57	4.47	A	4.64	4.47	・異校種、産学連携の推進 ・ICTを活用した進路相談体制の推
健康安全 指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	4.64	4.53	A	4.64	4.47	・防災訓練の工夫改善 ・安全教育の推進
	16 生徒の生命安全第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	4.86	4.47	A	4.93	4.53	・危機管理マニュアルの見直し ・感染症対策の一層の徹底
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	4.64	4.73	A	4.79	4.67	・教育相談後のフォローアップ体制の構築 ・関係機関との連携
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	4.79	4.60	A	4.71	4.80	・実践的な校内研修の充実 ・研修成果の還元
組織運営・ 保護者、 地域住民 等との 連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	4.64	4.67	A	4.64	4.67	・校内組織間の情報の共有化 ・メンターによる初任者教員の指導
	20 PTA活動・同窓会活動の促進に努めている。	A	4.00	3.80	A	4.14	3.93	・PTA活動の充実 ・HP等情報発信の工夫改善
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	4.57	4.53	A	4.71	4.40	・報道機関への情報提供 ・広報活動の充実
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	4.43	4.00	A	4.50	4.20	・地域・保護者との連携の充実 ・分掌業務の見直し
	23 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	A	4.57	4.33	A	4.57	4.47	・働き方改革のより一層の推進 ・部活動の年間計画見直しと改善

※ 評価基準

A: 充分である=4以上 B: 概ね充分である=3.5以上 C: 不十分である=3.5未満 D: 改善を要する=3未満

4 次年度以降の目標設定に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- (1) 各重点目標の更なる推進。(分掌間の連携を大切に、互いにサポートする体制の構築)
- (2) スピーディーで確実な実践に努める。(短期的視点での改善と長期的な視点での改善を見極め、改善を図る)
- (3) 本校の特色ある取組を、保護者・地域の方々に様々な方法で発信する。(HP及びInstagram等SNSでの情報発信や報道機関をととした情報発信)
- (4) 保護者、地域住民と連携した取組の推進に努める。(学校運営協議会の設立と村内各種機関との連携強化)